

Hot Paper

Kurata Akiko

2026. 春 No.13

くらた あきこ
桑名市議会 倉田 明子 会派 絆



ご挨拶

春のやわらかな日差しに、季節の移ろいを感じる頃となりました。皆さまには日頃より温かいご支援をいただき、心より感謝申し上げます。令和7年第4回桑名市議会定例会において、議長に選出していただきました。大変身の引き締まる思いであり、市民の皆さまに信頼していただける議会となるよう、その責任の重さを改めて感じております。

これからも、公正で信頼される議会を目指し、市民の皆さまの声を大切にしながら、市民福祉の向上と市政の発展に寄与できるよう努めてまいります。本号では、議会での質疑や地域での活動の様子を写真とともにご紹介しています。皆さまに市議会や私の活動を少しでも身近に感じていただければ幸いです。

活動報告



第87回全国都市問題会議

会派で全国都市問題会議に参加しました。テーマは「成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり～」。



障害者作品展

桑名市障害者作品展にて、学校や施設、ご自宅などで制作された力作の数々を拝見しました。細井会長から作品に込められた思いや背景を伺い、作品の魅力と温かな思いに触れる時間となりました。



国道1号 伊勢大橋架け替え工事を視察

国道1号の重要な橋である伊勢大橋。現在進められている「国道1号桑名東部拡幅事業」の現場を、会派で視察しました。

鋳物生産技術競技会議長賞表彰

桑名が誇る地場産業「鋳物」。その高度な生産技術を競う「第70回鋳物生産技術競技会」において、議長賞を受賞された城田鋳工株式会社様を表彰させていただきました。鋳物のまち桑名を支える高い技術力に、改めて誇りを感じました。



多度学園竣工式

令和8年4月に開校する多度学園の竣工式に参列し、テープカットに臨みました。多度地区の4小学校と1中学校を再編して誕生する、本市初の施設一体型義務教育学校です。子どもたちの9年間の学びをつなぐ、新しい教育の拠点がスタートします。



消防出初式

令和8年桑名市消防出初式で挨拶をさせていただきました。日頃から地域を守っていただいている消防団の皆さまに心より感謝申し上げます。写真はLIVE中継された迫力ある一斉放水の様子です。



レベル4対応の自動運転バスに試乗

長島駅～なばなの里～ナガシマスパーランド間で、車内に運転手が不在でも運行可能な「レベル4」に対応可能な自動運転のバスに試乗しました。前回より格段に進化しており、次世代の地域交通の可能性を感じました。

一般質問

本紙に掲載している質疑応答は、令和7年第2回・第3回定例会における一般質問から一部を抜粋したものです。
なお、議長任期中は議会において質疑・質問を行うことができないため、今回の掲載はこれまでの一般質問からの紹介となります。



質問
1

40℃時代の熱中症対策

～災害級の暑さから市民の命を守る取組～



質問 倉田明子

桑名市では昨年8月9日に最高気温40.4℃を記録するなど、災害級の暑さとなりました。この暑さから市民の命を守るため、市の熱中症対策についてお聞きします。

桑名市では40℃を超える猛暑を記録するなど、熱中症の危険が高まっており、救急搬送も増加しています。市ではクーリングシェルターの設置や公共施設のクールシェアスポット開放など、暑さを避けられる環境づくりを進めています。市民の命と健康を守ることを最優先に、今後も熱中症対策をさらに強力に進めていきます。



回答 伊藤徳宇市長



倉田の
思い

夏の暑さは年々厳しさを増しています。自分は大丈夫と思わず、こまめな水分補給や適切なエアコンの使用など、日頃から熱中症予防を心がけていただきたいと思います。私も市民の命を守る対策の充実を引き続き後押ししていきます。

※令和8年度予算で「利用者の多い公共施設に給水サーバー設置」の予算が計上されています。



質問
2

子どもとSNS

～情報社会で育つ子どもに必要なサポート～



質問 倉田明子

子どものSNS利用では、睡眠不足や学力への影響に加え、誹謗中傷や見知らぬ相手との接触による犯罪被害など、深刻な問題が指摘されています。最近では小学生のトラブルも増え、利用の低年齢化も進んでいます。子どもたちを「被害者」にも「加害者」にもしないため、教育現場でのサポートについてお聞きします。

教育委員会では、SNSによる犯罪被害やトラブルが社会問題となる中、学校教育の中でSNSとの適切な関わり方を指導することは重要と認識しています。現在、情報モラル教材「GIGAワークブックくわな」を活用し、小中学校9年間を通してSNSの使い方やリスクについて学ぶ取り組みを進めています。また、県のネットパトロールによる早期対応や、保護者への啓発など家庭との連携を図りながら、子どもたちが安全にSNSを利用できるよう取り組んでいます。



回答
関尾教育部長



倉田の
思い

スマートフォンやSNSを子どもたちから遠ざけることは、もはや現実的ではない時代です。だからこそ、リスクを正しく理解し、トラブルを避けながら賢く使う力を育てていくことが大切だと考えています。子どもたちが安心して情報社会の中で成長していけるよう、学校と家庭が連携した取り組みが進むことを期待しています。

—その他の一般質問—

令和7年第3回定例会

- 「こころ・カラダラボ」の活用と発展について
- 「幼保小の架け橋プログラム」の導入と活用について
- 部活動の地域展開について
- ラーケーション制度を導入する考えは
- 災害級の暑さから子どもを守る学習環境について

令和7年第2回定例会

- 熱中症対策における事業者との連携等について
- 教育現場における熱中症対策について
- 子ども総合センターの取組について
- インクルーシブ公園整備について
- 災害時のペットとの避難について
- 地域猫活動に対する県との連携状況は
- 児童・生徒の発達支援について
- 一人一人が輝くための教育について



詳細はこちらの桑名市議会ホームページをご参照ください



ホームページ
<https://akiko-kurata.com>
“倉田明子”で検索してください。

倉田明子 連絡先：桑名市松ノ木7-9-13
TEL・FAX：32-2432